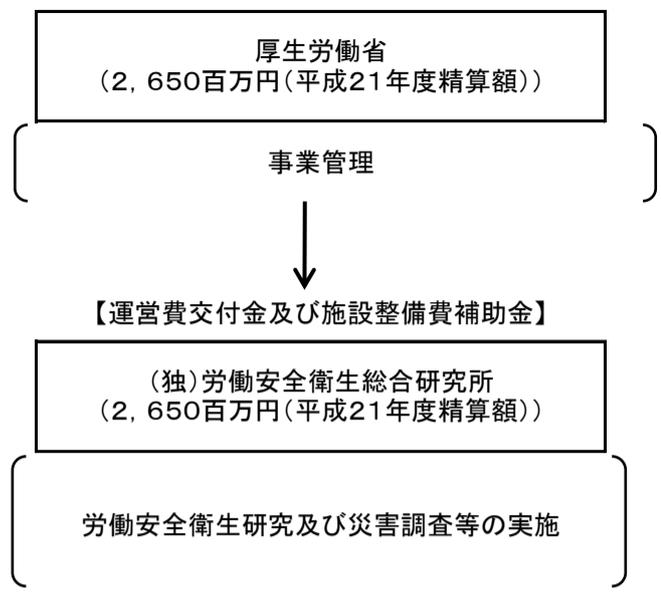


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	独立行政法人労働安全衛生総合研究所運営費交付金・施設整備費	事業開始年度	平成18年度			作成責任者
担当部局庁	労働基準局	担当課室	安全衛生部計画課			高崎 真一
会計区分	一般会計、労働保険特別会計労災勘定	上位政策	安全・安心な職場づくりを推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人労働安全衛生総合研究所法第11条	関係する計画、通知等	独立行政法人労働安全衛生総合研究所中期目標・中期計画(平成18年4月1日) 独立行政法人労働安全衛生総合研究所平成21年度計画(平成21年4月1日)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	労働者の安全及び健康の確保に資するため、以下の調査及び研究を行う。 1 プレス、木材加工機械等による労働災害、建設業における足場の倒壊、墜落、土砂崩壊による労働災害、化学設備等における爆発火災災害、感電災害等を防止するための産業安全面の調査及び研究 2 じん肺、職業がん、腰痛等の職業性疾病、メンタルヘルス、健康保持増進、有害物質を除去するための局所排気装置等に関する労働衛生面の調査及び研究					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	応用研究の基本である測定や分析等の基盤技術の研究を行うとともに、労働災害の発生現場における原因調査、事業場の労働現場の実態把握等を踏まえて研究課題を選定し、研究所内の実験設備及び現場を用いた再現実験等を通して災害原因の詳細な究明と防止策について調査及び研究を行っている。 研究の成果については、行政施策の策定に活用されるほか、論文等として一般に公表している。また、同種現場を有する事業場での活用が図られるように研究所の独自指針を策定公表しているものもある。 その他、重大な労働災害や原因究明が困難な労働災害について、行政の要請を受けて研究員を派遣し、災害調査の実施を通して災害原因を科学技術的な側面から究明した上で、行政に報告している。					
実施状況	研究の方向及び明確な到達目標を定めて、重点的に研究資金及び研究要員を配して実施するプロジェクト研究として、「第三次産業で使用される機械設備の基本安全技術に関する研究」、「先端産業における材料ナノ粒子のリスク評価に関する研究」など19課題を、基盤的な研究能力の充実・向上やプロジェクト研究等の萌芽的研究となる基盤研究61課題をそれぞれ推進した。 また、労働災害の原因究明や再発防止対策の策定に資する災害調査を19件、労働災害に関連する鑑定・鑑別等を35件をそれぞれ実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2,910	2,767	2,784	2,306	2,259
	執行額(精算額)	2,910	2,767	2,759		
	執行率	100.0%	100.0%	99.1%		
	総事業費(執行ベース)	2,910	2,767	2,759		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	中期計画に沿った予算執行など交付先に対し適宜連携を図るとともに、施設整備費補助事業については、実績報告により事業の進捗状況等について確認している。				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・管理部門における人員削減を図る。 ・外部研究資金の獲得額の向上に向け、目標を設定して取り組む。 ・省庁を越えた共同研究の実施、連携の強化に取り組む。 ・他の独立行政法人との統合等について検討中。 				
予算監視の所見率	一部改善(コスト削減) 組織のスリム化を図り、さらなる効率化を実施すること。					
補記	特になし					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。用途と費目の双方で実情が分かるように記載)

(独)労働安全衛生総合研究所					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費(退職手当を含む)	研究員	1,041.0			
	役員及び管理部門	247.6			
業務経費	プロジェクト研究費、研究管理経費、経常研究費、電子システム・情報化推進費等	762.2			
一般管理費	施設維持・管理経費、雑役務費、消耗品費、通信運搬費、旅費、健康診断費用等	170.9			
施設費	耐震改修、外壁防水塗装等施設整備に要する経費	114.5			
計		2,336.1	計		0
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0